# きりん組通信

2026　7．1

晴れたり雨が降ったり、天気の移り変わりが多いこの時期。室内や戸外に関係なく、子ども達は汗ばみながらも日々色々な遊びを楽しんでいます。プール遊びや泥遊び、色水遊び等今の時期にしか経験できない遊びも始まり、どの子も楽しんで遊んでいる姿が見られます。今回の通信では、夏の遊びの様子を紹介したいと思います。

## 『カラフルな水に触れて遊ぼう！色水遊び』

### 色が変わる不思議さや綺麗さに目を輝かせる子ども達。

色水遊びでは、雨樋を使って物を流す事が好きな子ども達の様子から、雨樋を準備したり、物を流して楽しめる物を準備したりしています。又、赤・青・黄色の色水も用意し、色の変化にも気付けるよう、遊びの場を作っています。

初めは、ジョウロやカップに水を入れたり出したりしながら遊ぶ姿が多く見られましたが、遊びを楽しんでいく中でたまたま赤と青色の色水が混ざり合い、紫になる事や、青と黄色が混ざり合い、緑色になる事がありました。その時に子ども達は、「むらさきなった！」と驚き、色の変化に驚きと不思議さを隠しきれない姿が見られました。すぐに保育者が「なんでだろうね」「不思議だね」と面白がったり驚いたりすると、「もう一回してみる！」「また紫になるかなあ」と更に楽しくなり、その後、色水をジュースに見立てて遊ぶようになっていきました。

子ども達の興味や好奇心が広がっている今、保育者も一緒になって遊びに興味を持ち、関わっていくことを大切にしていきたいです。

「みてーへび！」と、ジョウロに水を入れ、横に揺らしながら流した様子をヘビと表現しています。

水入れて蓋してひっくり返したらどうなるかな…

水流したら流れるかなあ…

「透明の水、ピンクにしたいんだー！」

シャンプーボトルに水を入れてスポンジで体を洗うよー！

## 泥遊び～泥んこになっても楽しいね～

「スープください」「はいどうぞ」

泥遊びでは、最初は汚れることを気にしていた子もいましたが、友達の遊んでいる姿や「気持ちいいね」などの楽しそうな声を聞くうちに、少しずつ手を伸ばし、今では、泥が苦手だった子も楽しむ姿が見られます。泥水を飲み物に見立て、「コーヒーできたよ」「ココアどうぞ」と見立て遊びを楽しんだり、「ごはんできた」と料理を作って保育者や友達に振る舞う姿が見られたりします。

泥遊びでも雨樋を用意すると、「流れた！」「もっとお水いれないと」と繰り返し水を流し、泥水が流れる様子を楽しんでいます。

暑い日々が続いていますが、冷たい水や泥に触れる心地よさを感じながら、毎日元気いっぱいに遊んでいます。

どうして、泥が落ちてこないんだろう？

スプリンクラーの水を全身に浴びて、楽しそう！

**おねがい**

・園で服が汚れた際は着替えをしています。着替えを持ち帰った際は、次の日に必ず園に置いておくストック用の服を持たせてください。宜しくお願いいたします。

・これから水遊び等で外遊びの回数が増える時期になります。帳面に記入がない際や、外遊び〇×が記入されていない際は外遊びが出来ません。毎日帳面の入力をお願い致します。